

2023(令和5)年 1月31日(火) 14052号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

非鉄金属市況・需給動向12月報告

亜鉛 4か月連続の供給不足

JOGMEC

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)が、このほど発表した市況動向12月報告の亜鉛は、中国、韓国による需要量の減少から供給タイト感が緩和したが、需給バランスは4か月連続で供給不足となった。

■需給動向(12月発表分)

①10月鉱石生産量は微増:

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)22年12月発表によると、10月の鉱石生産量は1,058.2千t(対前月比3.8%増、38.8千t増)と対前月比で微増した。中国やペルーをはじめとする主要生産国で、全体的に増加傾向がみられた。

②10月需給バランスは4か月連続で供給不足に:

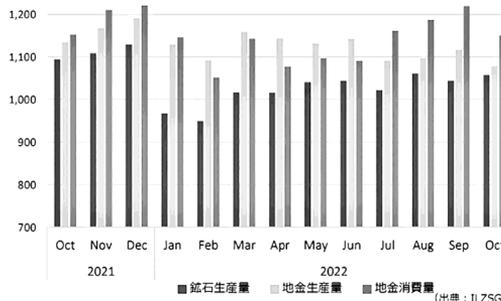
10月の地金生産量は1,078.7千t(対前月比0.3%減、3.9千t減)、地金消費量は1,151.1千t(対前月比2.7%減、31.4千t減)で72.4千tの供給不足となった。地金生産量は、欧州で蘭Budel製錬所などがケア&メンテナンスに入ったままであり、横ばいに推移した。また中国でも、電力不足で停止していた製錬所は操業再開・増産した

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



(単位:千t) 亜鉛鉱石生産量、地金生産量・消費量の推移(月別)



が、一部製錬所が定期メンテナンスに入ったことで相殺され、横ばいに落ち着いた。一方、地金消費量は、米国で増加したが、中国や韓国で減少した。需給バランスは、供給不足幅は前月より縮小したものの、4か月連続の供給不足となった。

③1~10月地金需給バランスは43千tの供給不足に:

ILZSGによると、1~10月の地金需給バランスは117千tの供給不足となった。供給では欧州の減産が、全体の供給量を押し下げた。消費量はインド、サウジアラビア、トルコが増加したが、中国、フランス、日本、ロシア、ウクライナなどで減少した。供給量は減少したが、消費量も減少した結果、不足幅は前年同期並みとなった。

■関連動向

①世界の自動車生産台数:

各種報道によると11月は7,172.0千台で対前月(7,202.4千台)比で0.4%減少とほぼ横ばいに推移した。

■企業・その他

①Nyrstar社(ベルギー):

仏Auby製錬所、保守作業完了も電力高騰などから生産再開アナウンスまで稼働停止を継続。(6日)

②Aurelia Metals社(豪):

NSW州Hera金・銀・鉛・亜鉛鉱山、キャッシュフロー赤字により予定より早期の2023年3月に閉山。(19日)

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp



木村金属株式会社
 Kimura 大阪市大正区鶴町 1-1-61

買取価格お問合せ

☎06-6552-7840

関西亜鉛工業会が新年会 3年ぶりの開催 「隣接する業界とも協調を」(清川会長)

関西亜鉛工業会(清川昇尉会長、会員11社・賛助会員1社)はこのほど、大阪市北区で新年会を開いた。コロナ禍により3年ぶりの開催。会員各社が出席、懇親を深めた。

挨拶に立った清川会長(株式会社清川亜鉛工業所社長)＝写真＝は、業界を取り巻く環境が厳しいなか、亜鉛の様々な特長とつながりを活かし、業界内外で協調することの重要性などを語った(挨拶要旨は下掲)。続いて、橋本圭祐副会長(ナニワ化工有限会社社長)の音頭で乾杯。歓談交流を深めた後、林泰伸副会長(株式会社林金属工業所社長)の挨拶と一本締めで年賀交歓を終えた。



〈会長挨拶要旨〉

3年ぶりの新年会になるが、この3年間で世界の状況は一変してしまった。世界各国で、リーマンショックと同じ轍を踏まないと、簡単に言えば財政出動に動いた。一概に言えないが人々の生活はある程度それで守られたと思うが、一方いろんな方面に配られたマネーの供給過剰になり、結果としてこの3年間でコモディティ全般、じわじわ上昇する流れになってしまった。

そうした状況下、あふれたマネーを調整するため主要国は出口戦略を考えていたと思うが、予期せぬ形で去年2月にロシアがウクライナに侵攻、経済制裁によりエネルギー全般が急騰してしまっ。結局インフレが起こり、これを打開するため西側主要国は意図せず金融政策によりインフレを抑える方策をとった。金融政策は実行後と実体経済のタイムギャップがあり、どの辺りで落ち着くか全く見えず世界経済も右往左往している。

亜鉛相場もこの流れを受けて非常に目まぐるしく動き、昨年4

月には建値60万円を超える前代未聞の数字。中国のゼロコロナで年末は43万円まで落ち込み、その解除もあって年明けからまたまた50万円を超える展開になっている。在庫は2万トン程度になっているが、2019年から20年は世界需給で50万トンの供給過剰から21年は30万トン、22年は20万トンの供給不足となった。足元予想では今年も15万トンぐらい不足するとみられているが読めない形になっている。

物価高とエネルギー、製造コスト全般の高騰が不安材料で、利上げによる投資抑制もあり、景気減退というマイナス材料がある。一方、中国のゼロコロナ解除により人の動きが活発になりつつあり、サプライチェーンの回復も期待できる。今年は物価高にまつわる消費者心理のマイナス的な部分と、一方で供給面、物流の回復が綱引き状態になり、どちらに転んでも不思議ではないが、それらがカギになるのではないかと考えている。

こうした状況下だが、亜鉛は様々なインフラを支えるため様々なところに使われており、厳しい難しい局面では、協調が必要、大切ではないかと思う。協調は、工業会同業者との情報交換などは勿論、私たちが生業にしている亜鉛リサイクルに隣接する業界の方々とも協調していくことが大切だと思う。

協調するベースを考えると、ファンクション、つまり機能や役割である。ファンクションの無いところには存在意義、存在価値はない。その業界は淘汰されていく。私たちの業界は長年の業歴があるが、あって当たり前というところに陥りがちになる。いま一度、業界のファンクションを創り上げるとか、模索するとか、そうしたことが非常に大切になってくると思う。

工業会に参加されている皆さん1社々々の新しい模索とか改善が業界の存在意義の高まりにつながってくるし、ご努力が工業会の発展につながると考える。工業会発展のため、今一度、得意分野や、様々なお付き合い会社と向き合って、どうしたことができるのか、思い、考え、実行していただき工業会の発展につなげていきたい。

銅・非鉄金属地金全般

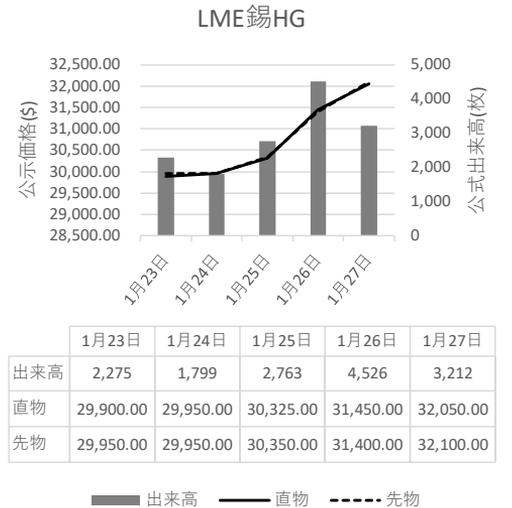
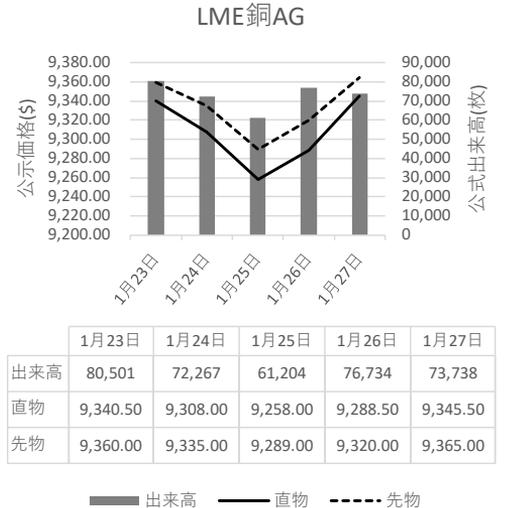
株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME公式値週間推移 1月23日～1月27日(現地)



※ 1月27日の出来高は速報値です。



JOGMEC

(074)

2022年 金属鉱物資源をめぐる動向

〈下〉

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（細野哲弘理事長）がこのほど公表した「2022年 金属鉱物資源をめぐる動向」。本欄前回に続き、金属企画部調査課による報告（抜粋・要約）の〈下〉を紹介する。

◆ロシアのウクライナ侵攻による金属市場への影響

一部で制限も市場影響は寡少

ロシアのウクライナ軍事侵攻に伴い、パラジウムやニッケル等ロシアからの供給量の多い金属は供給不安が発生、一時的に価格が高騰した。ロンドン貴金属市場協会(LBMA)は3月7日、ロシアの貴金属精錬業者6社の認定を停止。ロンドン金属取引所(LME)は11月11日、ロシア産金属の新規供給禁止を見送ることを決定した。欧米諸国や日本はロシアに幅広い制裁を科しているが、LMEで取引される金属は概ね一律の制限措置から外れている。現在はロシアの精錬業者締め出しによる市場への影響はほとんどなく、ロシア産金属は中国や中東などで依然として買い手が見つかっている状況にある。

◆日本で経済安全保障推進法が成立

米国でも重要鉱物確保政策を強力に推進

中国依存度の高いバッテリー鉱物やレアアースのサプライチェーン強靱化が強く意識され、重要鉱物確保政策が一段と推進された。日本では、経済(施策一体)安全保障推進法が5月に成立、特定重要物資に係る民間プロジェクトについて、国の認定を前提として、助成金等の支援を政府系機関から受けることができるようになる。特定重要物資は35鉱種が重要鉱物として指定され、現在、これらの安定供給確保を図るための取り組み方針が手続き中である。本方針の中に、当面の間、LIBの原材料となるマンガン、ニッケル、コバルト、リチウム及びグラファイト、永久磁石の原材料となるレアアースを支援策の対象とする旨が盛り込まれており、これらの鉱物に関連した開発事業への助成金支援が始動する。(この項以下省略)

◆EV化とバッテリーメタル資源確保

自動車OEMによる直接的確保が急速に拡大

22年は引き続き世界のEVの販売台数が著しく増加した。上半期の世界のEV・プラグインハイブリッド車(PHEV)の販売台数は約430万台となり、前年同期比62%増となった。カーボンニュートラル実現に向け、自動車OEM(Original Equipment Manufacturer)各社はEV生産台数の増産を相次いで発表した。これまで、EV向け電池の原料であるバッテリーメタルの確保については電池メーカーや商社等が主に行っていたが、EV生産台数増加に伴い将来の需要増も予想されることから、22年は自動車OEM各社が直接、バッテ

リーメタル確保を急速に実施したことが特筆される。

◆中国、コロナ禍で進むEV化の進展と非鉄産業への影響
レアアース産業の統合加速

コロナ禍にも関わらず中国におけるEV化の進展は大きく、22年1~11月のEV生産台数は前年同期比91.2%増、全自動車生産におけるEVの生産割合は25.4%であった。EV化進展の裏には中国駆動用電池メーカーの世界的な躍進があり、1~10月の中国の駆動用電池生産量は前年同期の2倍以上と大幅増産。メーカー別生産割合は、5年連続世界最大の駆動用電池メーカーとなった寧徳時代新エネルギー科技股份有限公司(CATL)が第1位で48%、比亞迪股份有限公司(BYD)が第2位で23%であった。

一方、3月末~5月に起こった中国でのコロナ感染拡大を受け、都市封鎖など厳格な防疫管理が継続、物流の停滞や工場の操業停止など経済活動への影響が報告された。リチウム関連では、感染拡大のみられる長江デルタ地域に電池産業や新エネルギー産業が集中しているため発注が減少、鉛関連では広東省、上海市などの封鎖管理により物流輸送が停滞、使用済鉛蓄電池の回収が滞るなど、リサイクル原料の調達にも支障が出た。しかし、11月末より発生した各地での暴動を受け、ゼロコロナ政策は徐々に緩和、事実上の破綻に追い込まれたことで、世界経済の回復が期待されるとともにその後の感染再拡大の影響が心配される状況となった。

レアアース業界では、21年末に3社の戦略的再編により発足した中国希土集团有限公司が10月31日に広東省広晟控股集团有限公司と戦略的協力協定を締結、さらに11月30日には湖南省人民政府と戦略的協力協定に調印するなど、中国国内レアアース産業の統合が加速している。供給面では、22年の軽希土の採掘割当量が前年比282%増となる一方、中・重希土は19年から4年連続で増減が無く、需要増に対応した増産が激しい状況が推察された。

◆中南米、左派政権が戦略的資源の管理強化を遂行も
困難が露呈(省略)

◆インドネシア、さらなる高付加価値化推進のため

Class2ニッケル輸出税等に向けて始動

インドネシア政府は、資源の高付加価値化政策を達成すべく原料の輸出規制を行い、国内企業は中国企業などと共同でバッテリー向けの原材料の製造プロジェクトに注力している。20年に政府はニッケル鉱石の輸出を禁止したが、世界貿易機関WTOは11月、規定違反と結論付けた。新鉱業法に基づき23年に銅精鉱・ポーキサイトは全面輸出禁止となる予定で、錫は、政府が別途政策を起案している。(この項以下省略)

◆アフリカ諸国、国内鉱山事業を巡る外国企業との係争続
(省略)

◆新生JOGMECの始動(省略)

故銅市況

前週末28日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,288.50ドルより57.00ドル高の9,345.50ドル。直物の終値は、前営業日の9,306.50ドルより64.26ドル安の9,242.24ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,320.00ドルより45.00ドル高の9,365.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,329.50ドルより66.00ドル安の9,263.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の426.75セントより4.50セント安の422.25セント。SHFE（上海期貨交易所）は春節の連休で休場。

週明け30日の東京為替市場TTSレートは、前週末の130.59円より0.52円の円安ドル高、1ドル=131.11円。28日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,345.50ドル。この値と30日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の125万円より1万3,000円高の126万3,000円。この日、電気銅建値は127万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

（1月24日更新）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1094~1099、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1059~1064、並銅は1024~1034、込銅（高品位=約97%）は1014、セバは742~747。コーベルは要り用筋で683、それ以外は668ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋693、それ以外663~673どころの値頃。並青銅鋳物削粉は896~901どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1074~1094、上銅新くずが1039~1059、普通上銅が1014~1034、2号銅線が1006~1026、並銅が1004~1024、込銅(94-97%)が952、込銅(90-93%)が954、下銅が504~554、セバが707~742、コーベルが623~668、黄銅棒地が618~663、黄銅削粉が613~658、黄銅ラジが578~586、交叉ラジが594~651、黄銅銅鋳物が571~578、送りが312~331、上青銅鋳物が893~913、並青銅鋳物が873~888、上青銅鋳物削粉が888~908、並青銅鋳物削粉が863~883どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

（1トン程度・置場・現金・キロ当たり円）

関東地区（1月後半）

2S=205円~225円、63S=189円~240円、アルミホイール(1P)=106円~220円、ビス付サッシ=85円~94円、エンジンコロ=90円~98円、込合金(機械鋳物)=86円~94円、缶プレス(ソフト)=51円~61円。

関西地区（1月後半）

2S=218円~220円、63S=220円~255円、印刷版=210円~215円、アルミホイール(1P)=201円~214円、ベースメタル=129円~133円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=70円~73円、ビス付サッシ=68円~103円、缶プレス=63円~68円。

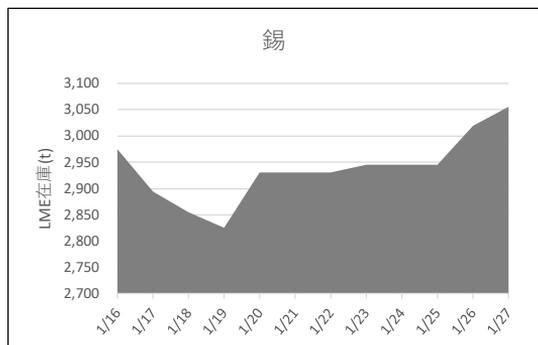
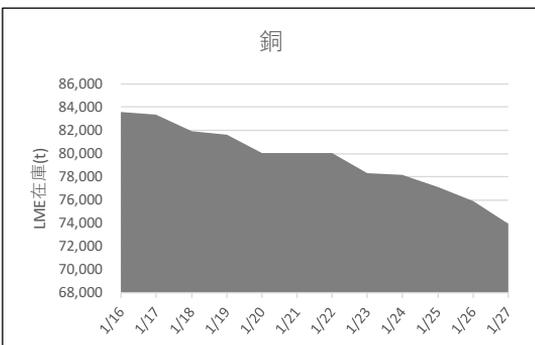
為替動向

27日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0830ドル~1.0840ドルで推移した。市場ではECBが2月2日の理事会で0.50%の利上げを決めるとの観測が拡がっており前日にユーロは対ドルで約9か月ぶり高値水準を付けた。週末を前に持ち高調整や利益確定のユーロ売りドル買いが出た。英ポンドは対ドルで横ばい。16時、前日と同水準の1ポンド=1.2350ドル~1.2360ドルで推移した。

27日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反発した。前日と比べ0.40円の円高ドル安、1ドル=129.75円~129.85円で取引を終えた。朝方に発表された米国の2022年12月PCEコア価格指数が前年同月比で前月の+4.7%から+4.4%に鈍化、過去1年余で最も低い伸びとなった。FRB金融引き締めペースが緩むとの見方から円買いドル売りが優勢になった。

30日早朝の東京外国為替市場で円相場は小幅ながら上昇した。8時30分、前週末17時と比べ0.16円の円高ドル安、1ドル=129.78円~129.80円で推移した。前週末発表された米国の物価関連指標が市場予想通りのインフレ鈍化を期待させる内容となったことでFRBによる利上げペースの減速が意識され円買いドル売りが優勢になった。日銀による大規模な金融緩和修正の思惑も依然燃っており円相場を下支えた。円は対ユーロでも上昇。8時30分、前週末17時と比べ0.23円の円高ユーロ安、1ユーロ=141.06円~141.09円で推移した。

LME認定倉庫在庫推移 1月16日~1月27日(現地)





LME銅相場は続伸 直物終値は9,242.24ドル
COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は休場
LME非鉄相場は総じて堅調も午後には軟化



28日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月27日入電の9,288.50ドルより57.00ドル高の9,345.50ドル。2営業日の続伸で0.95%高。この週1.23%の上伸。1月に入って11.43%の上伸。3か月物の前場売値は、1月27日入電の9,320.00ドルより45.00ドル高の9,365.00ドル。2営業日の続伸で0.82%高。この週1.29%の上伸。1月に入って11.49%の上伸。LME公認倉庫の現地1月26日銅在庫は、前日の7万5,900トンより1,925トン減の7万3,975トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月27日入電の426.70セントより4.30セント安の422.40セント。反落して1.01%安。この週0.58%の下落。1月に入って11.00%の上伸。2月限は、1月27日入電の426.65セントより4.50セント安の422.15セント。反落して1.05%安。この週0.69%の下落。1月に入って10.80%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）は、春節の連休で休場。

錫は続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月27日入電の3万1,450.00ドルより600.00ドル高の3万2,050.00ドル。6営業日の続伸で11.87%高。この週9.48%の上伸。1月に入って29.23%の上伸。3か月物の前場売値は、1月27日入電の3万1,400.00ドルより700.00ドル高の3万2,100.00ドル。3営業日の続伸で7.18%高。この週9.43%の上伸。1月に入って28.92%の上伸。LME公認倉庫の現地1月26日錫在庫は、前日の3,020トンより35トン増の3,055トン。

鉛も続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月27日入電の2,199.00ドルより8.00ドル高の2,207.00ドル。3営業日の続伸で6.98%高。この週3.03%の上伸。1月に入って5.48%の下落。3か月物の前場売値は、1月27日入電の2,188.00ドルより11.00ドル高の2,199.00ドル。3営業日の続伸で6.33%高。この週2.57%の上伸。1月に入って3.59%の下落。LME公認倉庫の現地1月26日鉛在庫は、前日の2万0,250トンよりトン減の2万0,250トン。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月27日入電の3,488.00ドルより21.00ドル高の3,509.00ドル。3営業日の続伸で2.59%高。この週1.86%の上伸。1月に入って16.00%の上伸。3か月物の前場売値は、1月27日入電の3,472.00

ドルより14.00ドル高の3,486.00ドル。3営業日の続伸で2.47%高。この週1.72%の上伸。1月に入って16.59%の上伸。LME公認倉庫の現地1月26日亜鉛在庫は、前日の1万8,625トンより950トン減の1万7,675トン。

アルミは下落 アルミ合金は横ばい 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月27日入電の2,598.00ドルより1.00ドル安の2,597.00ドル。2営業日の続落で0.35%安。この週0.44%の上伸。1月に入って10.02%の上伸。3か月物の前場売値は、1月27日入電の2,642.00ドルより4.00ドル安の2,638.00ドル。6営業日ぶりの反落で0.15%安。この週0.92%の上伸。1月に入って10.28%の上伸。LME公認倉庫の現地1月26日アルミ在庫は、前日の41万9,425トンより万3,900トン減の41万5,525トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月27日入電より横ばいの2,092.00ドル。この週横ばい。1月に入って1.46%の下落。3か月物の前場売値は、1月27日入電より横ばいの2,150.00ドル。この週横ばい。1月に入って1.15%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月27日入電の2,319.00ドルより1.00ドル高の2,320.00ドル。10営業日の続伸で12.62%高。この週0.39%の上伸。1月に入って10.48%の上伸。3か月物の前場売値は、1月27日入電より横ばいの2,389.00ドル。この週横ばい。1月に入って13.76%の上伸。

ニッケルは上伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月27日入電の2万8,750.00ドルより315.00ドル高の2万9,065.00ドル。反発して1.10%高。この週1.45%の上伸。1月に入って4.47%の下落。3か月物の前場売値は、1月27日入電の2万9,075.00ドルより475.00ドル高の2万9,550.00ドル。4営業日の続伸で5.63%高。この週2.52%の上伸。1月に入って3.27%の下落。LME公認倉庫の現地1月26日ニッケル在庫は、前日の5万0,364トンより822トン減の4万9,542トン。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公示価格(US\$)／1月27日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,345.50	32,050.00	2,207.00	3,509.00	2,597.00	2,092.00	2,320.00	29,065.00
	前営業日比	57.00	600.00	8.00	21.00	▲ 1.00	0.00	1.00	315.00
	週間増減比	1.23%	9.48%	3.03%	1.86%	0.44%	0.00%	0.39%	1.45%
先物	公示価格	9,365.00	32,100.00	2,199.00	3,486.00	2,638.00	2,150.00	2,389.00	29,550.00
	前営業日比	45.00	700.00	11.00	14.00	▲ 4.00	0.00	0.00	475.00
	週間増減比	1.29%	9.43%	2.57%	1.72%	0.92%	0.00%	0.00%	2.52%

海外非鉄金属相場

(1月28日 入電・現地 1月27日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金) and rows for current prices, previous day, and high/low values.

Table for 北米特殊アルミ合金 (North American Special Aluminum Alloy) with current price and high/low values.

Table for ニッケル (Nickel) with current price and high/low values.

NY コメックス相場
出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はボンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table for NY COMEX market with columns for metal types and rows for 1-month, 2-month, 3-month, 4-month, 5-month limits, and daily high/low.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の円・円レートで換算)

Table for 採算価格 (Breakeven Price) with columns for metal types and rows for current price and change.

フリー・マーケット

米国生産者価格 (地金)

Table for US Producer Prices (Raw Metal) with rows for silver (EH社, HH社) and prices.

NY相場

Table for NY Market with rows for copper and #2 copper wire prices.

ロンドン相場 (ドル)

Table for London Market (Dollar) with rows for gold, antimony, bismuth, cadmium, indium, selenium, sponge titanium, ferro molybdenum, cobalt, magnesium, tungsten, and tantalum prices.

KLTM 銅 (MYR/KG、出来高トン)

Table for KLTM Copper (MYR/KG, High Volume Tons) with columns for 27-day and 30-day prices and rows for current price, high, and O/D rates.

LME 在庫 (トン)

Table for LME Inventory (Tons) with columns for inventory and change, and rows for copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

上海在庫 (トン)

Table for Shanghai Inventory (Tons) with columns for inventory and change, and rows for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

LME プレマーケット (ドル)

Table for LME Pre-Market (Dollar) with columns for current price and change, and rows for copper, tin, lead, zinc, and aluminum.

上海相場

Table for Shanghai Market with columns for metal types and rows for 2-month, 3-month limits, and daily high/low.

※30日のKLTMは入電がありません。現地27日の上海市場は休場です

Table for 為替相場 (Exchange Rates) with columns for LME (per base/kg), COMEX, and Shanghai, and rows for copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

非鉄金属製品相場

(1月30日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1570	1515	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	1620	1565	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	1700	1715	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	1690	1725	鉛板1.5ミリ	570	570	3C×1.6	104~107
水道用管(m当たり)13ミリ	1600	1635	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	1480	1485	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1535	1530	アルミ箔0.007ミリ	1115	1135	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	1560	1545	〃 小板1ミリ	750	765	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	1490	1485	〃 大板1ミリ	730	755	14sq	217~231
銅平角線	1760	1715	〃 5052板	785	805	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1300	1275	〃 6061板	1315	1335	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	1330	1305	〃 2017板	1240	1365	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	1450	1455	〃 線3ミリ	730	750	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	1745	1755	〃 快削棒50ミリ	950	970	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	1715	1725	〃 合金棒50ミリ(17S)	935	950	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	1055	1070	〃 合金棒50ミリ(56S)	890	910	CVV (関西-関東)	
六角棒	1085	1100	貴金属(一般小口向け)			3C×2	129-132
四角棒	1115	1130	白金(グラム)		◆4776	4C×2	173-177
鍛造用	1095	1110	パラジウム(グラム)		◆7843	6C×2	246-252
ネーバル	1195	1210	金(グラム)		◆8924	7C×2	281-288
高力	1195	1210	銀(キログラム)		◆111540	合金鉄 11月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	1475	1455	レアメタル輸入価格	11月通関(CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有	243
黄銅平角線ロール仕上	1675	1665	金属ケイ素(99.99%未満)	491		〃 その他	266.4
黄銅条1.5×100	1295	1290	モリブデン酸化物	3917		フェロシリコン55%以上	324
リン青銅板一般用1.0ミリ	◎2730	◎2920	タンタル	75327		フェロクロム4%以上炭素含有	290.8
〃 バネ用0.3ミリ	◎2970	◎3170	マグネシウム	516		フェロモリブデン純分60%以上	4557
リン青銅棒25ミリ	◎2890	◎3100	コバルト	7571		フェロバナジウム	3591
リン青銅線3ミリ	◎3210	◎3420	インジウム	28021		フェロニッケル33%未満	767.1
洋白板一般用1.0ミリ	3910	4060				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	4060	4220					

減摩合金	1月16日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	4320
2種	4200
3種	4070
4種	3580
5種	3430
7種	1265
8種	1110
9種	970

銅合金地金	1月5日発表
(標準価格)	大阪
BC 1種	1225
2種	1535
3種	1615
6種	1335
7種	1435
YBSC 3種	1095
LBC 3種	1565
PBC 2種	1635



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1270(24) 金 8,083(30)
 () 実施日 電気鉛 336(25) 銀 100,870(30)
 電気亜鉛 511(26) 錫(99.99%) 5,000(16)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (1月30日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 36,000 ~ 39,000(1)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 東京		地 金		大阪 東京		
	仲間相場		仲間相場		仲間相場		
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値	
1 号 銅 線	1126	1119	電 気 銅 ◆	1217 ◆	◆ 1212	◆ 1219 ◆	◆ 1214
2 号 銅 線	1084	—	電 気 亜 鉛	482	476	482	476
上 銅 (新 切)	1097	1089	蒸 留 亜 鉛	470	464	470	464
雑 ナ ゲ ッ ト	955	949	再生ダイカスト亜鉛2種	416	410	416	410
並 銅	1039	1018	再 生 亜 鉛 (98%)	365	359	365	359
下 銅	1020	990	電 気 鉛	318	315	318	315
銅 削 粉	1014	993	再 生 鉛 1 号	296	286	297	292
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	302	298	302	298
新 切 黄 銅 セ バ	845	856	錫 1 号	◎ 4250	◎ 4200	◎ 4250	◎ 4200
コ ー ベ ル	813	814	ア ン チ モ ン	1750	1700	1750	1700
黄 銅 棒 地	811	802	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◎ 3800	◎ 3750	◎ 3800	◎ 3750
黄 銅 削 粉	805	798	コ バ ル ト	6000	5700	6000	5700
並 黄 銅	743	706	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	654	642	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400
交 叉 ラ ジ エ タ ー	691	657	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550
黄 銅 鋳 物	748	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450
山 送 り (55%)	400	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 384	◎ 380	◎ 386	◎ 382
上 青 銅 鋳 物	888	—	アルミ二次地金 99 %	318	313	318	313
並 青 銅 鋳 物	886	862	〃 90 %	298	293	298	293
上 青 銅 鋳 物 削 粉	881	—	アルミ二次合金ADC12	437	432	440	435
並 青 銅 鋳 物 削 粉	871	847	鋳 物 用 C2BS	462	457	464	459
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1109	青 銅 合 金 地 金 3 種	1630	1620	1680	1670
〃 (鋳 物)	1004	—	〃 6種	1360	1350	1370	1360
リ ン 青 銅 削 粉	922	902	ハ ン ダ 錫 60 %	2910	2870	2930	2900
新 切 洋 白 (電 子 材)	930	905	〃 50 %	2525	2475	2545	2515
新 切 亜 鉛	243	243	〃 40 %	2205	2145	2160	2130
ダ イ カ ス ト く ず	208	208	減 摩 合 金 2 種	4155	4125	4160	4130
亜 鉛 ド ロ ス	187	195	〃 4 種	3535	3510	3540	3510
上 鉛	146	144	〃 7 種	1210	1160	1210	1160
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	30	30	ス テ ン レ ス ・ 特 金 18-8スチレンス 新切			90	85
活 字 鉛	131	128	〃 グライ粉			75	70
新 切 アル ミ 1 級	240	239	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316			280	280
新 切 サ ッ シ 1 級	240	237	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310			500	500
新 切 合 金 1 級	225	217	13クローム 新切			23	24
機 械 鋳 物 1 級	175	182	ハ イ ス 9種			255	255
ビ ス 付 サ ッ シ P	196	197					
合 金 削 粉 P	115	126					
込 ガ ラ P	108	115					
カ ン ・ バ ラ	153	149					

非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202301